

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ア	生物多様性の保全	施策	① 自然環境の保全に向けた調査研究及び推進体制の構築
			施策の小項目名	○在来種の保護・保全に向けた研究
主な取組	うちなーロードセーフティ事業			
対応する主な課題	①本県は亜熱帯性気候のもと、サンゴ礁が発達した青い海に囲まれ、貴重な野生生物が数多く生息しているが、本土復帰後からの社会資本整備等により多くの自然環境が失われ、沖縄の生物多様性が失われていくことが危惧されている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
生物にふさわしい環境作り、道路環境の改善等を行うことで、ロードキル防止及び道路利用者に対し安心して走行してもらう事を目的に、対策工事及びモニタリング調査を実施する。		H29	H30	R元	R2	R3
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課 【098-866-2665】					
		対策工事、モニタリング				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		H29年度					H30年度					R元年度					R2年度					R3年度					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画		
主な財源	実施方法	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	当初予算額	主な財源	内容
うちなーロードセーフティ事業																															
一括交付金(ソフト)	直接実施	37,962	11,120	6,288	22,201	0											0		一括交付金(ソフト)		OR3年度：ロードキル防止を防止するため、除草等を実施した。 OR4年度：-										
予算事業名																															
主な財源	実施方法	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度					令和3年度活動内容と令和4年度活動計画																			
		決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源				OR3年度：																			
												OR4年度：																			

様式1(主な取組)

活動指標名	対策工事、モニタリング調査				R3年度			R3年度	進捗状況	活動概要
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合A/B	決算見込額合計		
実績値	対策工事、モニタリング調査実施	対策工事、モニタリング調査実施	対策工事、モニタリング調査実施	対策工事、モニタリング調査実施	R2年度で対策完了	対策工事、モニタリング	100.0%		0 順調	道路除草等を実施し、視認性を確保することでロードキル防止対策を実施した。  進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 本事業は令和2年度に対策工を完了しており、令和3年度は単独費による道路除草等を行い、視認性を確保することでロードキル防止対策を実施した。 なお、モニタリング調査については、令和2年度の調査に伴い、ある程度の事業の効果発現が確認できたため、実施していない。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合A/B			

(2) これまでの改善案の反映状況

令和3年度の取組改善案	反映状況
・沖縄の生態系・生物多様性の維持のため、これまでに実施して来たモニタリング調査やロードキル対策工事の事業効果や課題について、関係機関（環境省等）との情報共有を図り、連携したロードキル対策に取り組む。	・環境省など関係機関と情報共有を図り、次年度以降に実施すべきロードキル対策について関係機関と連携したロードキル防止対策に取り組んだ。

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・環境省では希少生物のロードキル件数の集計を行っており、道路管理者と連携してロードキル防止に取り組んでいる。

○外部環境の変化

・やんばる地域及び西表島において令和3年度に世界自然遺産登録されており、希少な生物の保護対策(ロードキル防止)は重要な取組の一つである。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・やんばる地域及び西表島において、ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコ等多くの希少生物が生息しており、ロードキル防止に取り組むことにより、生態系・生物多様性を維持する必要がある。

・道路における効果的な対策を実施できるように関係機関と密な連携体制を構築し、対策内容について情報共有する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・沖縄の生態系・生物多様性の維持のため、関係機関との情報の共有を図り、連携したロードキル対策に取り組む。